

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		051705		交通遺児対策事業		担当部課	部課コード	051700	2998-9140	
事業コード		051705		交通遺児対策事業		交通安全課	グループ	庶務		
開始年度		年度		終了年度		年度				
事業の概要	事業の種類	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		根拠法令		
	分野別計画・指針	所沢市交通遺児手当支給条例 所沢市交通遺児手当支給条例施行規則 所沢市交通遺児奨学金基金条例								
	関連・類似事業									
	総合計画の体系	章	安心・安全	節	交通安全	基本方針	交通被害者の救済対策の充実			
事業開始の背景	急速な車社会の到来により昭和30年代から交通事故が全国で多発。交通事故で保護者を亡くした子どもたちへの支援策として制度化された。									
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)									
	交通事故により保護者を失った交通遺児に対し奨学金及び遺児手当を支給し、向学心の高揚を図ることを目的とする。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	8	人				
	交通遺児(義務教育を終了するまで)の人数			平成 27 年度	8	人				
事業の具体的な内容及び実施方法										
保護者の申請により、交通遺児手当は、保護者に対し義務教育就学時から終了までの期間、遺児一人に対し月額5,000円を、奨学金は、遺児一人に対し、小学校及び中学校入学者に50,000円を、高等学校入学者に80,000円を支給する。										
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			437		856		670		
	決算(見込み含む)			431		793				
	(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.12 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	正規職員人件費		0.55 人	4,797	0.35 人	3,031				
	事業費合計			5,118		3,824				
	財源内訳	一般財源	4,687		3,031		670			
国・県支出金	0									
その他	431		793							
実績	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標		
	活動実績	交通遺児数	交通遺児数	人	8	8	8			
		手当支給金額(合計)	一人当たり月額5,000円	円	340,000	430,000	420,000			
		奨学金支給額	小中学入学者×50,000円 高校入学者×80,000円	円	0	290,000	80,000			
項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標			
成果指標	対象者の受給者	受給者÷対象者	%	目標値	100	100	100	100		
				実績	100	100	<input checked="" type="checkbox"/> 実績	<input type="checkbox"/> 実績		
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	どちらかをチェックしてください			
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析					
	年度当初に、当該世帯より提出していただく現況確認の書類の書式を変更し、受給者と、職員の事務手続きに係る負担も減らした。									
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	交通遺児に対して手当及び奨学金を支給することは、交通遺児家庭の経済的援助となっているため。					
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	前年度とほぼ同じ数の交通遺児に対して手当及び奨学金を支給することとなっているため。					
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性					
	市内の交通遺児家庭に対して、申請漏れがないよう、適宜、学校等の関係機関に周知を行っている。				交通遺児に対して手当及び奨学金を支給することは、交通遺児家庭への援助となっていることから、今後も事業を継続する。また、未支給者がいないよう、引き続き学校等の関係機関への周知を行っていく。					
評価日	H28.7.26		評価者職氏名	交通安全課長 田中 政美						
環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	手当等支給事務		規制を受ける環境法令等	無		
							緊急事態	無		